

児童の実態

本学級の児童は、学習課題に対して真面目に取り組むことができる。また、話を聞きとり、良いことは学習に取り入れようとする児童が多い。1学期の学習以降もペア対話を取り入れてきたことで、自分の考えを理由と共に言う姿や、うなずいたり反応したりしながら聞く姿も見られるようになってきている。しかし、思いや考えはあるのに、言葉で伝えることに苦手意識をもっている児童も少なくない。本校で実施している児童生徒アンケート項目の一つである「自分の思いや考えを安心して言えますか」の強肯定は29.2%であり、思いや考えがあっても安心して伝えることができる児童は3割に満たないことがわかる。また、話し合いでは自分の思いや考えを主張するのみで会話が終わってしまうことも多く、話し手の話に関心を持ち、相手の意見や考えを受け入れながら聞くことにおいてはまだ十分とは言えない。

単元デザイン

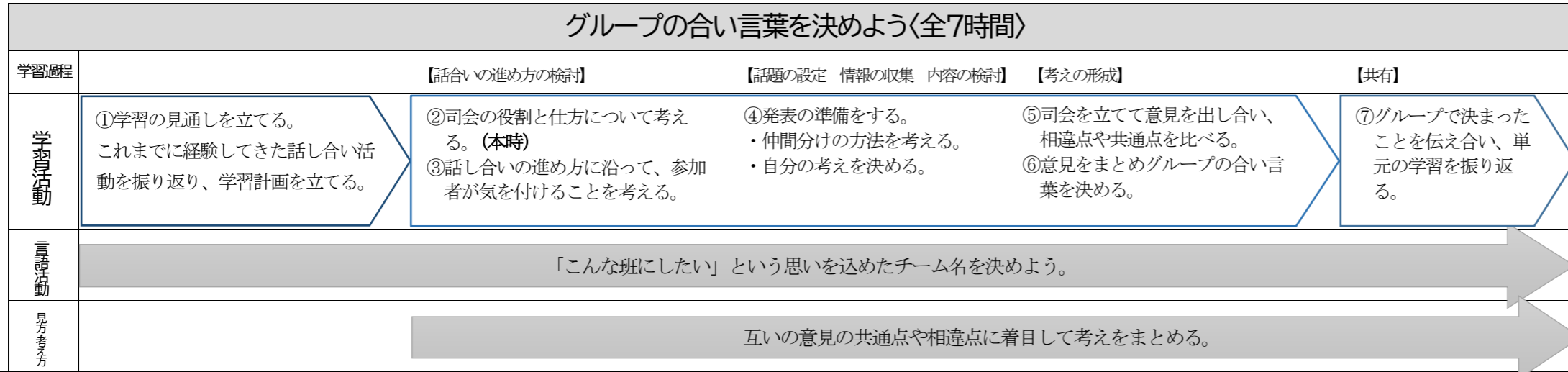
本単元における重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」(1)オ「目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。」である。児童はこれまで1対1の対話やグループでの簡単な話し合い活動を経験してきている。本単元では、グループの中に司会を立て、その進行にそって協働的に話し合い意見をまとめることをねらいとしている。これまでの児童の話し合いは、自分の意見の出し合いに終始してしまい、友達の意見を受け止めたり、グループとしての考えをまとめたりすることが難しい場面が多く見られた。そこで本単元では、「班のチーム名（合い言葉）」の合い言葉を決める話し合いを言語活動として設定した。これまでの活動から見えた課題を踏まえて、目的に合った思いや考え、願いが込められた合い言葉を決める。そしてグループで1つの合い言葉を決める話し合いを通して、相手の思いや考えを受け止め合うことで、自分の意見に自信を持って伝えることができるようにしたい。

第一次では、これまでの話し合い活動、特に班活動を想起し振り返ることで、課題を確認し、本単元の話し合い活動に目的意識を持てるようにする。また、自分たちが班替えをした際にチーム名（合い言葉）をグループで話し合った時の録画をもとに、更に話し合い活動をレベルアップさせるにはどうすればよいかを考え、話し合い活動への意欲を高めていく。第二次では、話し合いを始める前に、教科書の話し合いの例を用いて、司会の役割や話し合い活動の進め方の工夫を児童の気付きを基に確かめ、見通しを持つことで、それぞれの立場の工夫を見つけ出し、見つけたポイントは「3-2話し合いレベルアップのわざ」としてまとめ、グループで話し合う活動を見合う際の視点とし、振り返りに活用できるようにする。また、共通点や相違点などに着目して、意見を分類することは、考えをまとめる際に役立つということに気づくことができるようにする。そして、小グループで話し合い、司会者や参加者それぞれの立場を体験していく中で、相手が理解してくれているかどうかを確かめながら話したり、質問や共感、復唱、反応、感想を言うなど相手の話に興味をもって聞いたりすることを大切にしていく。第三次では、学習のまとめとして、「3-2話し合いレベルアップのわざ」を活用しながら、第一次であげたこれまでの課題と、本単元での今回行った話し合い活動を比較してその成長を確認する。また、うまくいった話し合いの進行の仕方や言葉の使い方を確認しまとめることで、今後の話し合いに活かし、言葉の使い方を獲得していくようにしていく。

研究主題に迫る手立て

安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

- 【自己決定】司会者になった際に自分はどういうことに気をつけて進めていきたいか考え、話し合いで実践できるように、ワークシートを活用する。
- 【自己存在感】自分の考えを持ちたり伝えたりすることができるようにするために、対話例の中から司会者が使えるような言葉に線を引くようにする。
- 【共感的人間関係】相手の話を受け入れることができるようにするために、相手が話しやすい聞き方を確認してからペアやグループで意見を交流する活動を取り入れる。



評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解している。【(2)イ】	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。【(1)ア】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。【(1)オ】	・これまでに学習したことや話し合いの経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもち、目的を意識して、司会の進行に沿ってグループで進んで話し合おうとしている。

単元の主な資質・能力

1・2年
互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

3・4年
目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

単元の目標

【知識及び技能】
・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解することができる。(2)イ

【思考力、判断力、表現力等】
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。A(1)ア
・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。A(1)オ

【学びに向かう力、人間性等】
・言葉が持つ良さに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。

本単元終了時の目指す児童像
司会や参加者の役割を果たしながら話し合う中で、互いの意見を受け入れ、考えをまとめることができる。

5・6年
互いの立場や意図を明確にししながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

中1年
話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

3-2 **本時の目標** 司会の役割とその仕方を考えることができる。

本時における見方・考え方 話し合いの進め方に着目して、司会者の役割や司会が使う言葉を整理する。

<p>学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ふく習 2. これまでの話し合いをふりかえる。 3. 司会者の役割や使っている言葉を見つける。 4. ふりかえり 	<p>ふりかえり</p>	<table border="1"> <tr> <td style="width: 20%;">④まとめる</td> <td style="width: 20%;">③話し合う (くらべ合う)</td> <td style="width: 20%;">②出し合う</td> <td style="width: 20%;">①たしかめる</td> <td style="width: 10%;">進め方</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ しまったことをたしかめる ・ 話し合ったことをたしかめます。今日は、くについて話し合いました。くは△△にきまりました。 ・ これで話し合いを終わります。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出た意見を見せながら 意見をもとめる ・ 同じところやにているところはありませんか。 ・ (二つの意見が出ていますが、) どちらがよいですか。 ・ ○○さんは、どう思いますか。 ・ そろそろきめていきましょう。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する人をあてる ・ 意見を出してください。○○さん、おねがいします。 ・ しつもんはありませんか。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何について話し合うのか たしかめる ・ これから、くについて話し合います。 ・ はじめに、くを出し合ってから、次に、くをきめます。 </td> <td>司会者の役割・使う言葉</td> </tr> </table>	④まとめる	③話し合う (くらべ合う)	②出し合う	①たしかめる	進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ しまったことをたしかめる ・ 話し合ったことをたしかめます。今日は、くについて話し合いました。くは△△にきまりました。 ・ これで話し合いを終わります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出た意見を見せながら 意見をもとめる ・ 同じところやにているところはありませんか。 ・ (二つの意見が出ていますが、) どちらがよいですか。 ・ ○○さんは、どう思いますか。 ・ そろそろきめていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する人をあてる ・ 意見を出してください。○○さん、おねがいします。 ・ しつもんはありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何について話し合うのか たしかめる ・ これから、くについて話し合います。 ・ はじめに、くを出し合ってから、次に、くをきめます。 	司会者の役割・使う言葉	<p>教科書 120 頁～122 頁の話し合いの例</p>	<p>④ 話し合いを上手く進めるための司会の役わりを考えよう。</p> <p>グループの合い言葉を決めよう</p>	<p>評価</p> <p>【思考・判断・表現】 観察・発言 話し合いの例をもとに、話し合いを上手く進めるための司会者の役割や司会のとくに使えるような言葉を見つけている。</p> <p>B 評価 対話例の中から、司会者が使っている言葉を見つけている。</p> <p>A 評価 対話例の中から、司会者が使っている言葉を見つけ、役割を考えている。</p>
④まとめる	③話し合う (くらべ合う)	②出し合う	①たしかめる	進め方											
<ul style="list-style-type: none"> ・ しまったことをたしかめる ・ 話し合ったことをたしかめます。今日は、くについて話し合いました。くは△△にきまりました。 ・ これで話し合いを終わります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出た意見を見せながら 意見をもとめる ・ 同じところやにているところはありませんか。 ・ (二つの意見が出ていますが、) どちらがよいですか。 ・ ○○さんは、どう思いますか。 ・ そろそろきめていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する人をあてる ・ 意見を出してください。○○さん、おねがいします。 ・ しつもんはありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何について話し合うのか たしかめる ・ これから、くについて話し合います。 ・ はじめに、くを出し合ってから、次に、くをきめます。 	司会者の役割・使う言葉											

つかむ・見通す

解決活動

ふり返り

◆前時の学習を想起する。

T: これまでに、みんなは話し合いの際にこのようなことで困っていたみたいだね。
みんなは司会をやってみたいですか?
C: やりたい! やりたくない。
T: なるほど。どうしてそう思った?
C: 私はやりたいです。学級会でやって楽しかったから。
C: やりたくないです。理由は、司会のやり方がわからないから。
T: 司会はいなくてもいい? (「出し合う」までの司会者がいるときと、いないときの動画を見せる)
どちらの話し合いがよかったかな? どうして?
T: では、みんなが司会をできるようにするためにはどうしたらいいのかな。今日は司会者がどんな役割をして、上手く話し合いを進めているのか考えてみようか。

◆本時の課題を知る。

話し合いを上手く進めるための司会の役わりを考えよう。

◆司会者の役割を見つける。

T: (役割を隠した対話例を見せる) どの人が司会の役割をしているのかな。そこからどんな役割があるのか見つけてみよう。
C: 男の子 A が司会者だと思う。理由は、初めに「これから○○○○について話し合います。はじめに、～」と言っているから。
C: 学級会でも司会が最初にこのような言葉を言っていた。
T: なるほど。そしたら、話し合いの進め方 (①確かめる→②出し合う→③話し合う (比べ合う) →④まとめる) のそれぞれの中で司会者はどのような役割をしているのかな。
C: 最初に話し合うことを確かめている。
C: 発表する人を当てて、「○○さんお願いします」と言っている。
T: 司会者は最初に話し合うことを確かめたり、「②出し合う」で発表する人を当てたりする役割があるんだね。みんなは司会者が当ててくれたら話しやすい?
C: 話しやすいかもしれない。
T: そしたらこの言葉が使えるかな。
(「③話し合う」、「④まとめる」についても司会の役割と使っている言葉を確認する。)

◆司会者の役割をまとめる。

T: 話し合いを上手く進めるために、司会者はこれらの役割があるんだね。
①何について話し合うのか たしかめる
②発表する人をあてる
③出た意見を見せながら 意見をもとめる
④しまったことをたしかめる
T: これから話し合いをするとき、自分が司会者だったらどんなことに気をつけて進めてみたい? 振り返りに書いてみよう。

◆ふりかえり